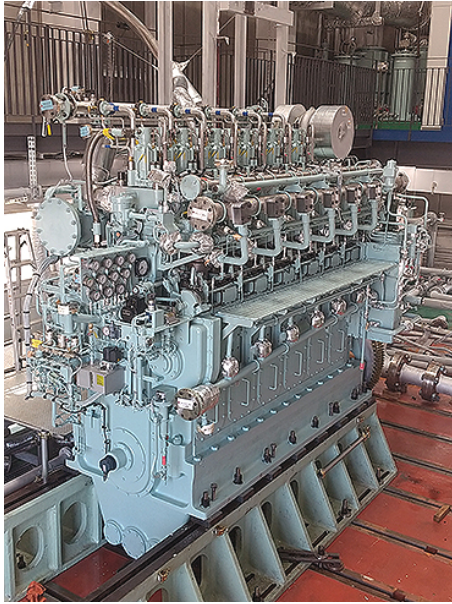


2024年6月27日

メタノール燃料エンジンが型式承認 阪神内燃機工業、低速4サイクル機関では世界初



型式承認を取得した「LA28M」

阪神内燃機工業が開発したメタノール燃料焚きの低速4サイクルエンジン「LA28M」がこのほど、日本海事協会（NK）から型式承認を取得した。船用低速4サイクルメタノールエンジンでは世界初。

証書の発行は6月5日付。LA28Mは、メタノールを主燃料、A重油をパイロット燃料とした直接噴射式のメタノール専焼ディーゼルエンジン。専焼エンジンではあるものの、メタノール供給遮断時でもパイロット燃料（A重油）のみで船級が求める速力で航行可能であり、冗長性を確保している。

同エンジンは、商船三井や阪神内燃機工業など6社が開発を進めている国内初のメタノール燃料内航タンカーに搭載される。同タンカーは12月に完成予定。

阪神内燃機工業は先月、播磨工場内の播磨高度研究棟で、関係者らを招きLA28Mの完成記念式典を開いた。

海事プレスに掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

© Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.